

南田中図書館の雑誌・新聞をご紹介します

南田中図書館は現在、雑誌は130誌以上、新聞は20紙以上を継続して受け入れています。その中から、雑誌の担当者がテーマを決めて、毎回2タイトルを紹介します。

今月のピックアップテーマは… **児童・青少年向け雑誌**

★おりがみ【雑誌】

季節にあった折り紙が紹介されています。創作作品や珍しい折り紙も掲載され、子どもから大人まで楽しめます。

★B-PASS（バックステージ・パス）【雑誌】

楽屋通行証というタイトル通り、今、注目されている日本のアーティストを深く探って記事にしている、推し活している方は必見です！

一般特集

1階フロア奥通路/館外出窓

第15回こどもエコ・コンクール作品展

in南田中図書館

時事展示

1階正面入り口横

男女共同参画週間

地域特集

1階カウンター前

禁煙週間

環境特集

1階正面玄関前 環境コーナー

環境月間

視聴覚特集

1階コピー機横 新着CD棚

THE BEATLES

来日60周年記念特集

青少年特集

2階青少年コーナー

朝ごはんたべてますか？

階段展示

階段踊り場

しよか つゆ

初夏と梅雨

児童特集

2階エレベーター前

地球のために できること



中高生大募集！

スタッフと共に青少年イベントを盛り上げていく中高生ボランティア

「ユースサポーター in Minamitanaka」のメンバーを随時募集しています。

詳細は南田中図書館内のポスター・チラシをご覧ください！

南田中図書館だより

2026

6

第199号

発行 練馬区立南田中図書館
指定管理者 株式会社図書館流通センター
令和8年(2026年)6月1日発行

カワイイあのこにご用心

この季節は、蒸し暑い雨の晴れ間に、洗濯とカビ取りの日々を送っております。昔は蒸し暑すぎると、さっと冷たいシャワーを浴びていましたが、昨今では「汗拭きシート」なる物で、体を拭いて済ませています。楽な時代になったものだなと思いつつ、思い出すのは昔の苦い思い出なのでした…。

雨の晴れ間にRちゃんと、刺さないミツバチ通称『ハナマル』を捕まえて遊んでおりました。『ハナマル』の近くには、刺すハチの『クロマル』も飛んでおり、気を付けつつ『ハナマル』のみを捕まえていました。私家で可愛いねと眺め、Rちゃんが触ろうと、虫かごに手を入れた瞬間に「痛いっ！」と叫んだのです。どうやら『ハナマル』だと思っていたハチの中に、普通の刺すミツバチもいたようです。虫かごから数匹のハチが逃げ出し、私もRちゃんもパニック状態に。Rちゃんが「Fちゃんって！」と私に指を差し出しました。人差し指に白い小さな花びらがついていましたが、私は怖くてとることができず、「おかあさあーん！(泣)」と叫んだのでした…。

親となった今、我が子に近づくハチを素手でたたき落とすまでに成長し、洗濯とカビ取りに励みつつ、『ごめんねRちゃん』と猛省する今日です。

図書館スタッフおすすめの本

978-4から始まる13桁の数字は
本を識別する「ISBNコード」です

新刊
一般

禁じられた装丁

皮膚でつくられた本の歴史と倫理
ミーガン・ローゼンブルーム 著 | 阿部将大 訳
原書房 | 2026年
978-4-562-07661-1



「死者の皮膚は解剖の副産物として残されたものであり、動物の皮が食肉処理業者によって処分された後で利用されるように、医師の蔵書をより貴重で価値のあるものにする為だけに剥ぎ取られたのだ」（本文より）。タイトル通り薄気味の悪いノンフィクション作品。まさに「事実は小説よりも奇なり」。

新刊
青少年

エイダンをさがして

デイヴィッド・レヴィサン 作 | 三辺律子 訳
小峰書店 | 2026年
978-4-338-28730-2



行方不明になっていた12歳のエイダンが、6日目の夜に屋根裏部屋で無事に見つかった。生きていたことを喜び安堵（あんど）するが、いったい6日間どこにいたのか。「アヴェイニユ」にいたとエイダンは言うが、そんな別世界は実在するのか。弟ルーカスの視点で描くファンタジーと現実が交錯する物語。

新着
CD

赤ちゃんの音楽室

日本クラウン株式会社 | 2026年
CRCD-2536



Disc1には定番のキッズソングや耳なじみのある童謡・手遊び歌、Disc2にはオルゴールアレンジのディズニーやジブリなどの人気曲、クラシック曲が入っています。6月にぴったりの「あめふり」も収録。一緒に聴いて遊んだり、おやすみ時間に流したり。赤ちゃんの気分に合わせて聴ける、2枚組のCDです。

新刊
児童

ヤングケアラーのキミがひとりで悩まないための本
A Book to Help Young Carers Avoid Struggling Alone
濱島淑恵 監修
Gakken | 2026年
978-4-05-501475-5



本書はマンガと分かりやすいインタビューで構成され、身近に感じられる事例も載っている。私個人の体験として、小学校の頃の苦い記憶がよみがえった。障がいのある妹がいたことで、同級生がいじめられて転校していったのだ。ひとりで悩んでいる子の不安や負担が軽くなるよう、読んでもらいたい一冊です。